

高知家地方創生アイデアコンテスト2020



高知家木材振興プラン

～木育による商品開発から四万十ヒノキブランド化により
高知県全体の木材振興と木の文化のまちづくりへつなぐ～

(県立)高知工業製作所 商品開発部

企画概要

弊社（本校）は「イノベーションKT」の愛称で、「自ら学び 自ら考え 自ら行動する力」すなわち「自ら力」を根源に、全ての教育活動を新しい視点や観点で見直し、社会での「いきる力」の育成に取り組んでいます。

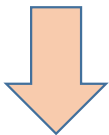
今回は、高知県が抱える人口減と経済問題に着目し、建築課（科）の社員（生徒）として、クライアント（高知家）の地方創生のために、課題と真摯に向き合い、解決のための商品開発から、高知家生産品のブランド化・地域経済・まちづくりの活性化を目指します。



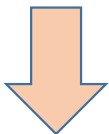
高知県の問題点 その1

人口減

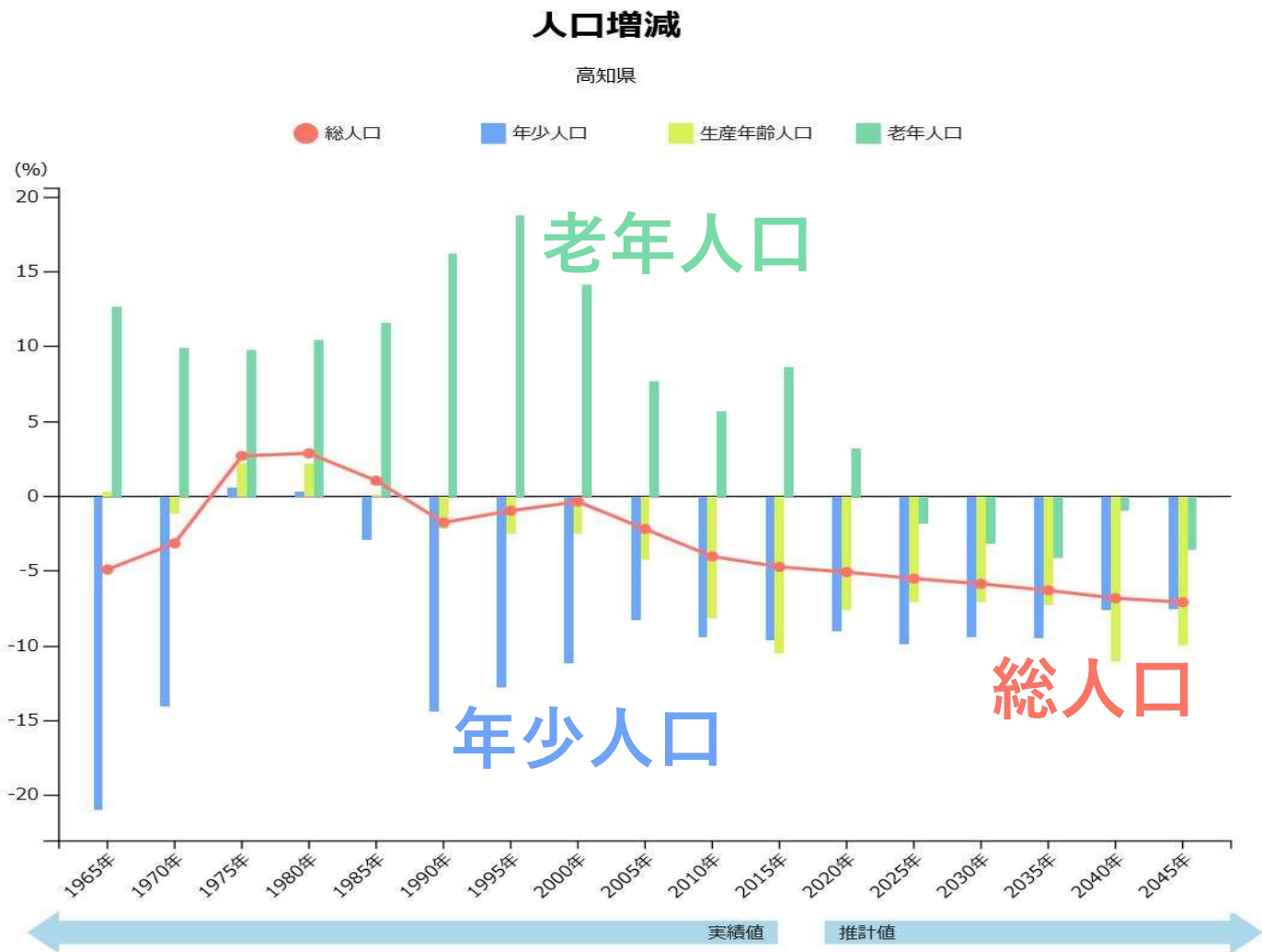
近年全ての世代人口
が減っている



少子高齢化問題



地域マンパワー
地域経済
の衰退



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

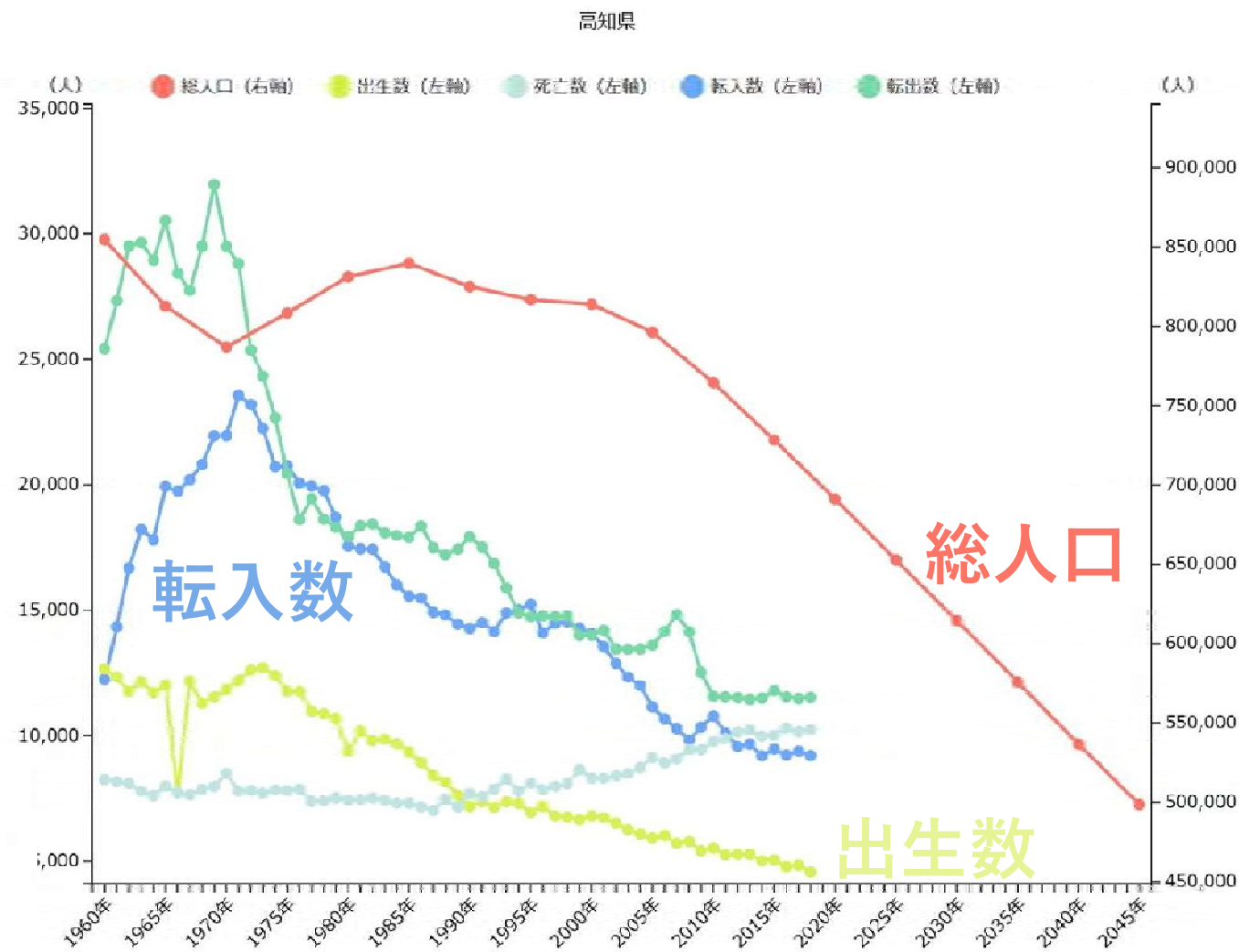
2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = $(A - B) \div B$

A：表示年を指定するで指定した年の人口

人口減

- ・ 出生数、転入数共に低く減ってきている
- ・ 総人口は減少傾向の一途をたどっている
- ・ 2045年には50万人を下回る試算となっている



人口減

県外へ進学・就職しても高知県に戻ってくる人は圧倒的に少なく県外流出に歯止めがつかない！！

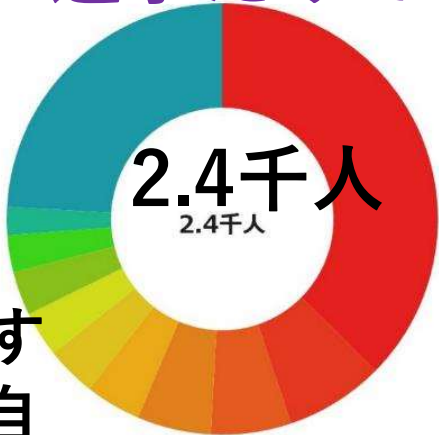


Iターン・Uターンを推進するためにも、魅力的な独自性のあるまちづくりとやりがいある仕事の創出が大切なのでは？

都道府県間の流出入状況（同地域間を含む）

高知県
2018年
すべての進学
総数

流入進学者
進学だけで毎年800人の流出！



- 1位 高知県 0.9千人 (37.41%)
- 2位 兵庫県 0.2千人 (7.41%)
- 3位 愛媛県 0.1千人 (6.02%)
- 4位 岡山県 0.1千人 (5.56%)
- 5位 徳島県 0.1千人 (4.17%)
- 6位 広島県 0.1千人 (3.75%)
- 7位 香川県 0.1千人 (3.41%)
- 8位 大阪府 0.1千人 (3.29%)
- 9位 愛知県 0.1千人 (2.78%)
- 10位 京都府 0.1千人 (2.11%)
- その他 0.6千人 (24.09%)



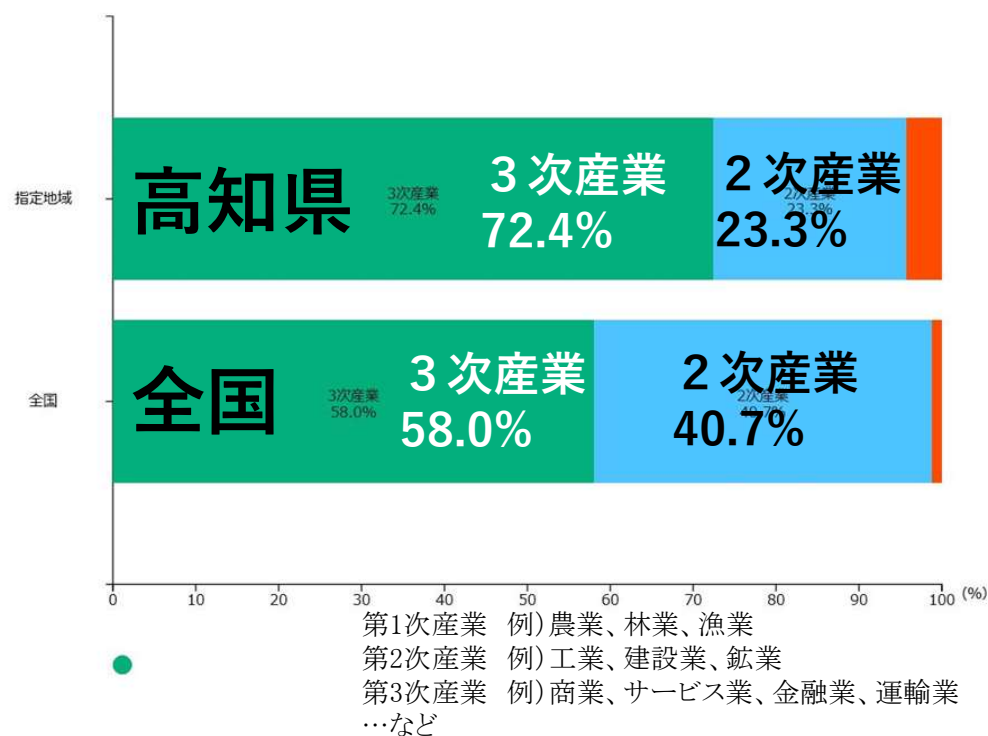
- 1位 高知県 0.9千人 (27.33%)
- 2位 大阪府 0.3千人 (10.13%)
- 3位 東京都 0.3千人 (8.49%)
- 4位 岡山県 0.3千人 (8.19%)
- 5位 兵庫県 0.2千人 (7.14%)
- 6位 京都府 0.2千人 (6.53%)
- 7位 愛媛県 0.1千人 (4.46%)
- 8位 徳島県 0.1千人 (4.28%)
- 9位 広島県 0.1千人 (3.39%)
- 10位 神奈川県 0.1千人 (3.35%)
- その他 0.5千人 (16.71%)

高知県の問題点 その

2 経済基盤

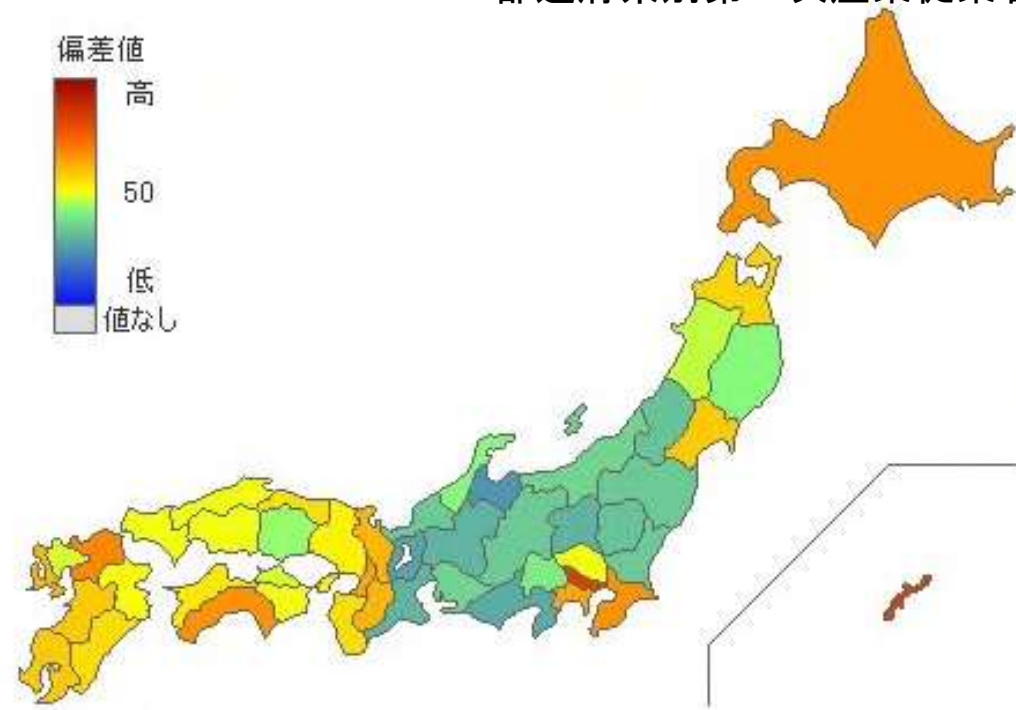
地域内産業の構成割合（生産額（総額））

高知県
2015年



高知県は観光以外に、内需で経済が支えられている？

都道府県別第3次産業従業者数



2次産業と1次産業の割合がもっと増えれば、高知県の活性化につながるのでは？

【出典】
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circ/index.html>

全国と比較しても3次産業の割合がかなり高く、旗艦商品力が弱い！！

高知県の問題点 その

2 経済基盤

高知県は四国内で一番海外進出数が少ない



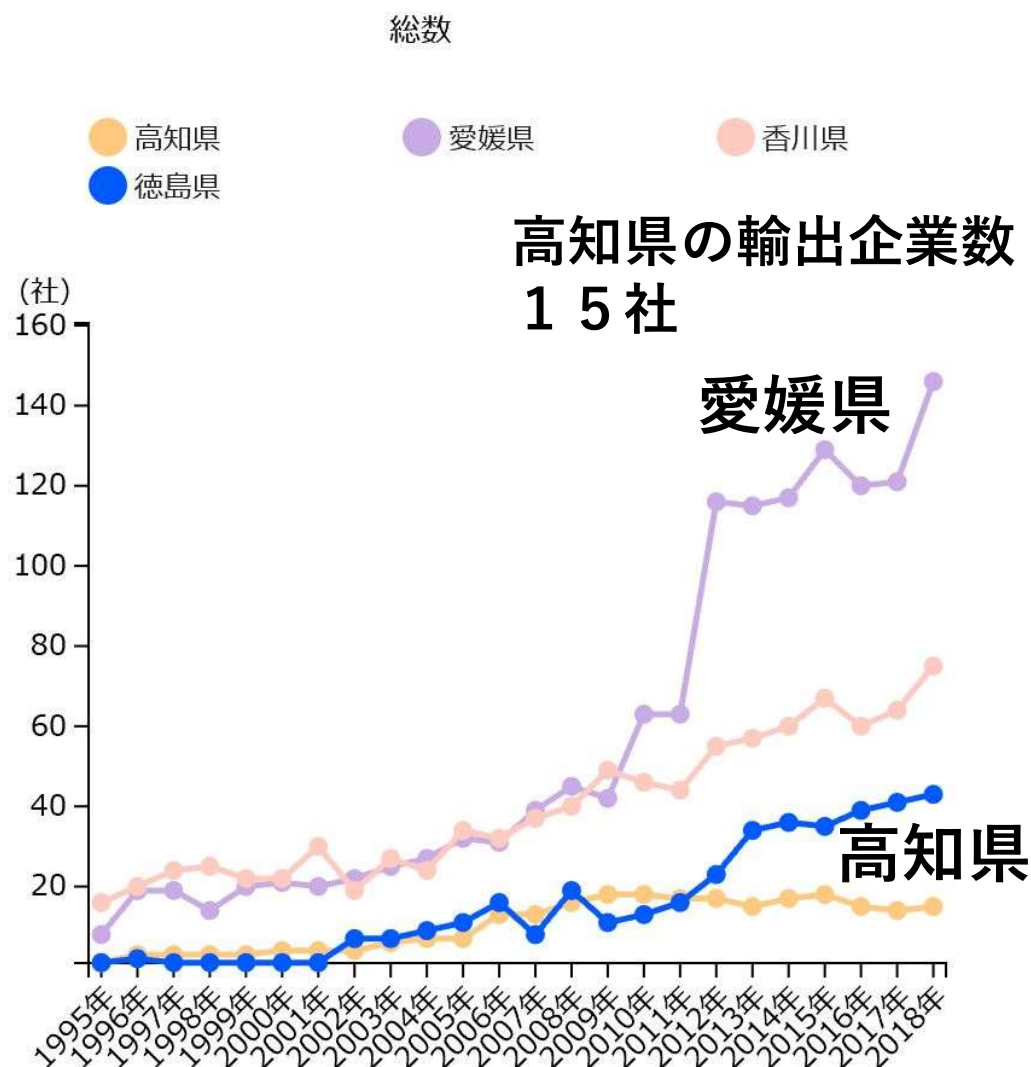
外貨もなかなか稼げていない



インバウンドとともに強化が必要



都道府県別の企業進出数推移



突然ですが高知県の特産品(商品)
として思い浮かぶものは何ですか？



カツオ



ゆず



しょうが



土佐和紙

高知県 **が**っちり



儲けてる？

高知県の強みは何ですか？

それは圧倒的な森林率！！
もっと木の文化県として売り込みを強化！

そこで資源としてたくさんある
木材で何かできないかと考える

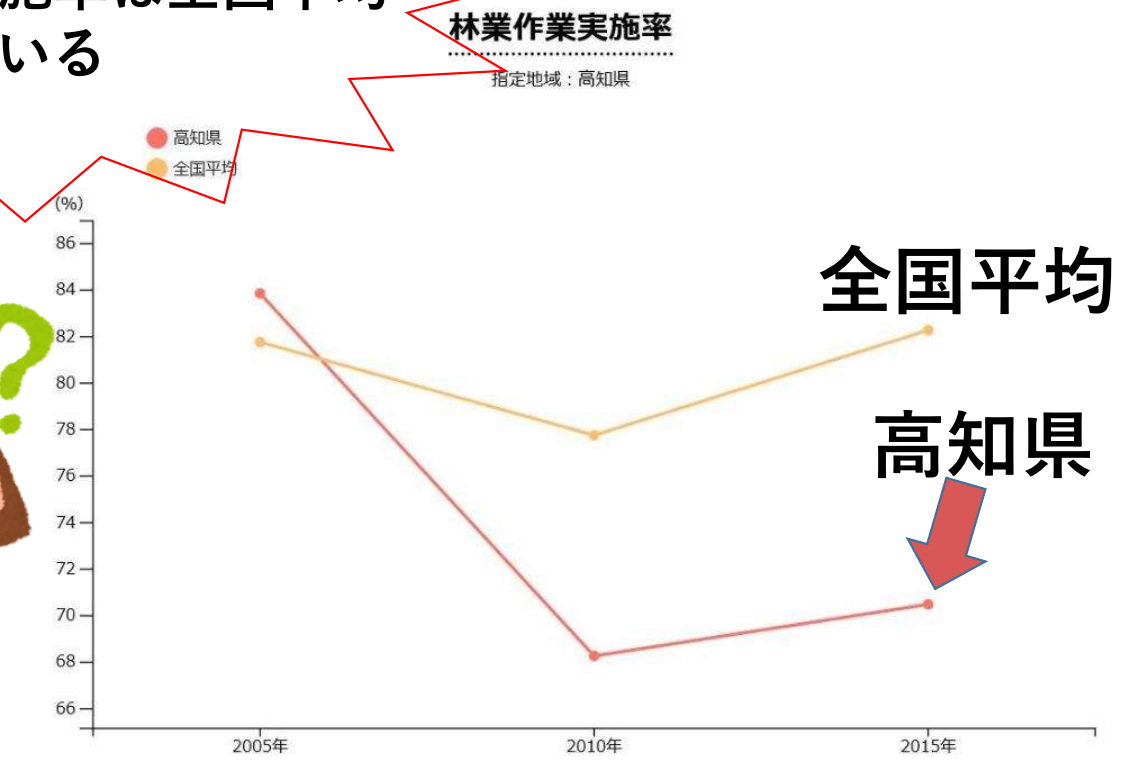
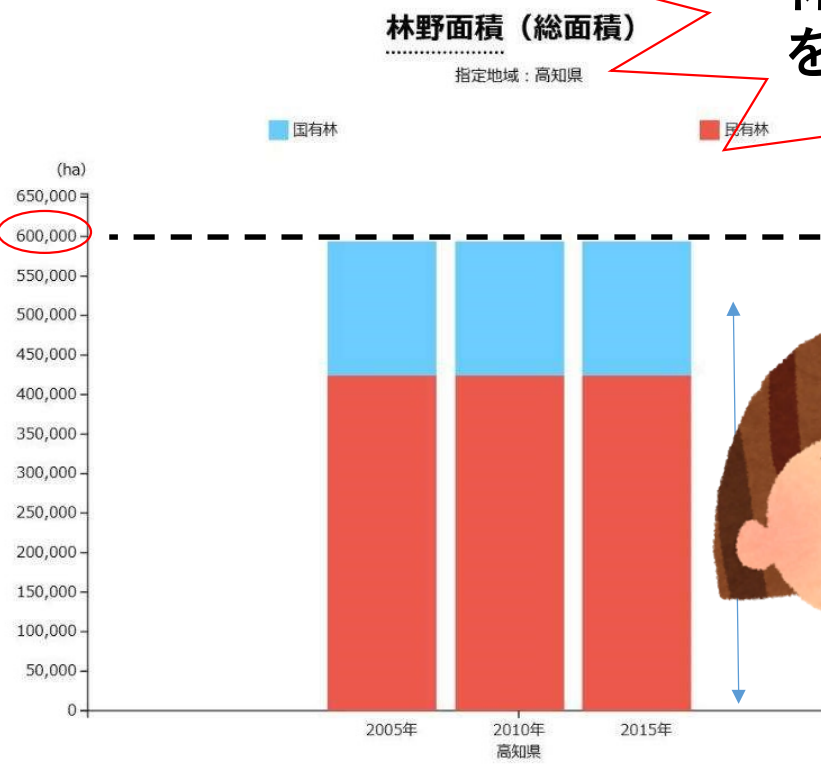
県土の森林率 84%



高知県の改善すべき点

林業実態

林野面積は十分にあるのに
林業作業実施率は全国平均
を下回っている



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は合算結果に反映されない。

【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

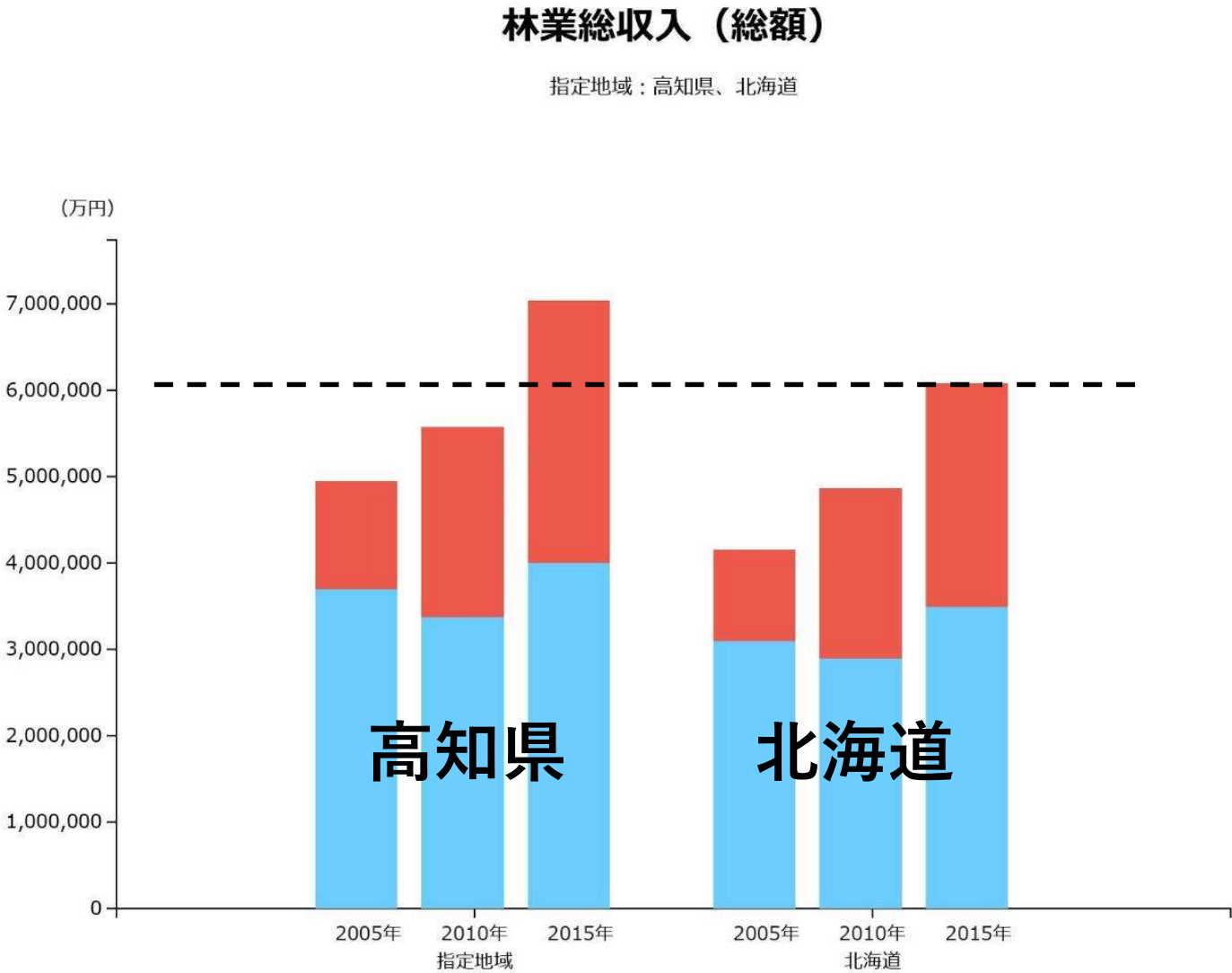
【注記】
林業作業実施率 = (過去5年間に保有山林で林業作業を行った経営体数) ÷ (経営体数総数)

高知県の今後推進すべき点

林業実態

高知県の特筆すべき現状

- ・ 2010年から2015年にかけて林業関係の収入が増えている
- ・ 森林面積が全国1位の北海道より収入が多い



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

高知家木材振興プラン始動

- 一般財団法人フューチャーデザイン、四万十町森林組合との協働により木材振興のきっかけとなる商品開発に着手
(建築家・構造家・集成材工場との検討)
- **持続可能な社会とまちづくりのために、将来の消費者となる子ども向けの木育遊具の提案**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsと木育の関係

林野庁HP 森林×SDGs

- 森林そのものが様々なSDGsに貢献。さらに森林資源・森林空間の利用を通じ、様々なSDGsに貢献。
- これらの利用は、林業・木材産業を通じ、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっている。

木材の生産、加工、流通

- ・ 林業界で活躍する女性の増加→ジェンダー平等の実現
- ・ 合法伐採木材の流行→作る責任、使う責任

木材の利用

- ・ 環境に優し建築→エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- ・ マテリアル利用木造・木質化の技術開発→産業と技術革命の基盤に



四万十町森林組合大正集成工場の取組

・森を切ったら、使ってもらう。

※FSC認証制度：森林を適正に管理し、持続可能な森林の利用と保全を図る制度

四万十町森林組合は、ただ、森を育て、切って出すだけの森林組合ではない。若年者の雇用の場として、また四万十川の価値を伝えるひとつの術として、四万十ヒノキの原木や集成材の製材・販売を展開し、森林資源をきちんと使い、再び森へと返す仕組みづくりを心がけている。

また、※FSC認証制度に取り組み、そこから製品を生むことによって「環境・社会・経済」の各側面に配慮した「持続可能な森林経営」を目指している。



幼児のための木育知育遊具の開発



階段・本棚・ベンチ・ひみつ基地

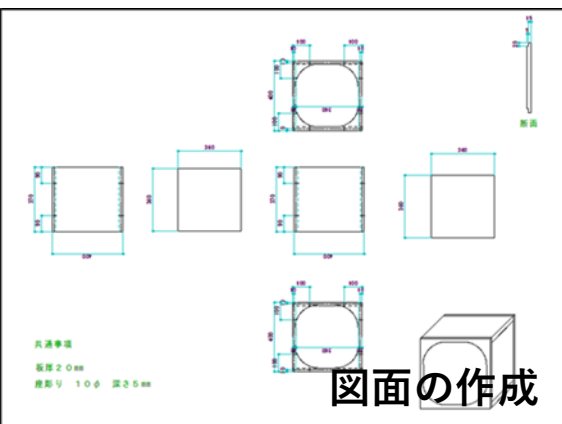
幼児のための木育知育遊具の開発



サイズの検討



打合せ



図面の作成



試作の製作



試作の製作



打合せ



ジョイントの検討



試作の展示

ヒノキ集成材の立体迷路を考案



対象のこども自ら積み木で遊びながら立体迷路を考える！



こどもが考えた積み木迷路を大人が実物サイズで再現してあげる！！

商品開発スタディ モニタリング



内部は四万十ヒノキの肌触りと香りに包まれ、抗菌作用にも期待！！！！



自分で考えた積み木迷路を縦横無尽に遊びつくす！！！！



予想以上の大好評！！

知育木育遊具
住箱Subako試作品
壱号機の完成

高知県立高知工業高等学校建築科
一般財団法人フューチャーデザインと創造的教育協会
四万十町森林組合大正集成材工場



商品広告ポスター



高知家木材振興プランの 将来図

© TOSAZAIセンター + team Timberize

高知県木材産業振興課
高知県木材協会

今回、高知家の木材振興につなげるための商品開発を試みた。

今後、高知家の旗艦商品のひとつとなり、林業従事者の増加や林業経済の活性化の意識的なきっかけとなることを望んでいる。高知県がCLTをはじめとする木材供給の先進県となり、想像図のような木の文化県となることで、県内外の観光需要、インバウンドマーケティングも取り込むことで地方創生がなされることを期待する。

